ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク PR 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル15F 03-4567-4518 <u>Japan PR. Tiffany & Co @ Tiffany.com</u>

ティファニー、アーティストのケンドリック・ラマーとカスタムメイド の「クラウン・オブ・ソーンズ(いばらの冠)」を製作





ティファニーは、アーティストのケンドリック・ラマーとのコラボレーションを発表いたします。ラマーは、長年のクリエイティブコラボレーターであり、pgLangの共同設立者であるデイヴ・フリーと共に、チタンとパヴェダイヤモンドを使用したカスタムメイドのクラウンの製作をティファニーに依頼しました。ニューヨークにあるティファニーの工房で、10か月間にわたって熟練した職人たちの手により、意義と象徴に満ちたクラウンに命が吹き込まれたのです。このデザインは、ティファニーの最新の革新的なパートナーシップの象徴として、デザイナーや職人が誇る技術とアートの世界をつなぐものです。ラマーは、2022年6月26日にグラストンベリーで開催されたヘッドライナー公演で、このクラウンを着用して登場しました。

For further inquiries, please visit press.tiffany.com.

Tiffany, T&CO., Tiffany & Co., The color and word mark Tiffany Blue, and the design and word mark Tiffany Blue Box are trademarks of Tiffany and Company and its affiliates.

「ケンドリック・ラマーは、2世紀近くにわたってティファニーを定義してきた芸術性、リスクを 恐れない創造性、そして絶え間ない革新性を体現するアーティストです。このたび、優れた先見 の明の持ち主であるケンドリックと共に、彼がイメージするクラウンのビジョンを形にできたこ とを誇りに思うと同時に、とてもエキサイティングな気持ちでいっぱいです」ティファニーのプ ロダクト&コミュニケーション部門のエグゼクティブバイス プレジデントを務めるアレクサンド ル・アルノーはこのように語っています。

ケンドリック・ラマーとデイヴ・フリーは、2021年に「いばらの冠」をインスピレーションソースとするヘッドピースのアイデアをもって、ティファニーのデザインチームにアプローチしました。宗教的図像の象徴として最も広く認識されているシンボルのひとつである「いばらの冠」は、芸術面での優れた能力、謙虚さ、そして忍耐力を表すメタファーとなっています。ラマーにとって、ティファニーによるこの唯一無二のデザインは、多作な先輩アーティストたちへの敬意を表するものであると同時に、音楽や文化へのラマーの影響力と貢献を力強く表現するものでもあります。

ラマーとフリーは、クラウンのデザインについて明確なビジョンと意図を持っていました。「いばらの冠」を参照したことに加え、両アーティストは、ジャン・シュランバージェが1956年にティファニーに入社する前の1947年に制作したアイコニックな「いばら」のブローチからもインスピレーションを受けました。18Kイエローゴールドで作られたとげのような突起が47カラットのサファイヤを取り囲むデザインのこのブローチは、現在ロンドンで8月19日まで開催中のティファニーのブランドエキシビション「Vision & Virtuosity(ビジョン&バーチュオシティ)」で展示されています。



ジャン・シュランバージェによる「いばら」ブローチ

For further inquiries, please visit press.tiffany.com.

Tiffany, T&CO., Tiffany & Co., The color and word mark Tiffany Blue, and the design and word mark
Tiffany Blue Box are trademarks of Tiffany and Company and its affiliates.

© 2022 Tiffany and Company, All rights reserved.

ラマーとフリーが魅力を感じたデザインは、さまざまなサイズのダイヤモンドが無数に並ぶ石畳のようなマイクロパヴェセッティングでした。最大限の輝きが引き出されるようにすきまなくセットされたパヴェダイヤにより、この作品に自然主義的なクオリティが生まれています。ダイヤモンドはひとつひとつ手作業でセットされ、プロングも手作業で作られました。プロングは鋳造で作られるのが通常のところ、この作品では、職人がまずはダイヤモンドを固定したあとに、金属をカットして上から折り返してプロングを作るという、ハイジュエリーだけに見られる工程を踏んでいます。ティファニーでは、19世紀後半から特別なヘッドピースの数々を、手作業で製作してきました。



- 製作時間: 10_{π} 月、1,300時間を超える作業時間を経て、ティファニーの4人の職人が一丸となってこのデザインを実現しました。
- 重量と素材: クラウンの重さは約200g。入念に研磨したチタンを素材とし、14個の鋳造 部品を1つのピースに組み立てました。
- ダイヤモンドの数:8,000石以上、総カラット数137カラット超
- とげの数:ストレートなとげ、太いとげ、細いとげ、そしてバラをイメージしたとげの合計50本

ティファニーについて

ティファニーは、1837年にチャールズ・ルイス・ティファニーがニューヨークで創業し、洗練された革新的なデザイン、 精巧なクラフトマンシップ、そして卓越した創造性の代名詞としてその名を馳せるグローバルラグジュアリージュエラーです。

ティファニー社とその子会社は、全世界で300 店以上の店舗と13,000 名を超える従業員を擁し、ジュエリー、ウォッチ、ラグジュアリーアクセサリーのデザインから製造、販売までを行っております。また5,000 名を超える卓越した職人たちは、自社工場でダイヤモンドのカッティングやジュエリー制作に携わりながら、ティファニーが約束する最高品質へのコミットメントの実現に貢献しています。

ティファニーは、責任ある事業活動を行い、自然環境を維持し、多様性と包摂性を優先し、事業を行う地域社会に良い影響を与えることを長年にわたり約束しています。ティファニー社、およびティファニーのサステナビリティに対する取り組みの詳細については、tiffany.co.jpをご覧ください。

ティファニーのダイヤモンドトレーサビリティ

ティファニーは、25年以上にわたり責任あるダイヤモンドの調達に尽力し、常に業界をリードしてきました。そして世界的なラグジュアリージュエラーとして初めて、自社の個別登録ダイヤモンド (0.18 カラット以上) のクラフトマンシップジャーニー (調達・加工・制作の全履歴) の情報を開示提供しています。ティファニーは、こうした責任あるダイヤモンドの調達が、途上国での従業員の人権の尊重、公平で安全な労働環境、自然環境の保全に繋がることを信じております。

ダイヤモンドクラフトマンシップジャーニー及びティファニーのサステナビリティの取り組みの詳細については、https://www.tiffany.co.jp/sustainability/をご覧ください。